



～ 足利 から 世界 へ ～

栃木県立足利高等学校



学校案内(2019(令和元)年度版)

校訓

『質実剛健』『文武両道』

教育目標

健康で知性に富み、情操が豊かで道徳心高く、
生活力旺盛な青年を育成する。



積小為大

校長 横尾 浩一

本校は日本で最古の学校のある足利の地に、大正10年（1921）に栃木県立足利中学校として産声を上げ、2年後に創立100周年を迎える県内屈指の伝統校です。卒業生は2万5千名を超え、

国の内外を問わず、あらゆる分野で素晴らしい活躍をしています。

本校の使命は、進学校として、地域の期待に応えること。知・徳・体のバランスの取れたリーダーを育てることです。すなわち、生徒の第1希望の進路実現を果たすこと。部活動・学校行事・生徒会活動などを通して、人間的な成長を図ることです。

そのために、現在本校は、当たり前前（あたりまえ）のことが当たり前前にできる「凡事徹底」の取組を行っています。「小さい事を積み重ねることが、とんでもないところへ行く、ただ一つの道だ」（イチロー選手の言葉）、「平凡な事を徹底して継続することで、平凡は非凡になる」という意識を足高中に根付かせたいと思っています。

本校の卒業生は、東大、東工大、一橋大をはじめ、希望する大学に多くの方が合格しています。“積小為大”努力を継続すれば結果はついてきます。

中学生の皆さん。本校は皆さんの夢や希望を叶えることのできる素晴らしい環境が整っています。皆さんを全力で支え育てます。皆さんの入学を心からお待ちしています。



足高LIFEに向けて

生徒会長 塚原 功将

足高は、2年後に創立100周年を迎える伝統ある男子校です。四季折々の景色に彩られる両崖山の麓で、自然に恵まれた静かな環境の中、有意義な高校生活を送っています。

学校行事では、太田高校との対抗戦に大いに燃えたり、足高祭に向け力を合わせて展示物やアトラクション、模擬店を準備したり、クラスマッチやマラソン大会、サッカー大会を通して仲間との絆を深めたりと、校訓「質実剛健」を実践しています。また、部活動への加入率も高く、共に汗を流したり、真剣に作品制作に取り組んだ結果、関東大会や全国大会への出場・出品も果たしています。

学習面では、土曜講座が隔週で開催されています。図書室が平日は19時まで、土曜日は終日開放され、自学自習の場が設けられており、多くの生徒に活用されています。このように、足高は勉強するには素晴らしい環境が備わっており、もう一つの校訓「文武両道」を実践し、多くの生徒が切磋琢磨しながら希望大学への進学を実現しています。

このように恵まれた環境の中で、やりたいことに積極的に挑戦したことが、高校時代の最高の思い出になることは間違いありません。みなさんもこの学び舎で、仲間と共に充実した楽しい日々を過ごしてみませんか。

太田高校との対抗戦

足利尊氏・新田義貞ゆかりの地である足利・太田両市にある両高校が、運動競技を中心とした競争種目で、全生徒・全職員が一丸となって戦う壮大なスケールの行事です。「戦場」は、それぞれの高校とその周辺地域・施設であり、戦場を交互に移して戦います。

1985年（昭和60年）からつづくこの行事も今年度で35回目を迎えます。昨年度は2年に一度の「本戦」が本校を会場に行われ、見事に勝利を収めて、7勝7敗の五分に持ち込むことができました。今年度は部戦が行われ、両校の意地と意地がぶつかり合う男の戦いが繰り広げられます。

